

コラム

気になる「よそ様」の事情

「鉄と鋼」に論文を投稿すると、「審査はやかましいわ、掲載までに時間がかかるわ、冗談じゃないよ。」という多数の天の声が聞こえ、「こりゃ、大変だ。」ということになりました。そうすると、「他所さんはどうなっとる。」と、気になるのが人情です。そこで、よそ様の事情を少々覗いてみました。

図1と2は、その一部分が鉄鋼協会の内容とオーバーラップする国内の主要学会誌、および鉄鋼協会と類似の海外の学会誌のうちの月刊誌について、投稿から掲載までに要した日数を過去5年分について調査した結果です。

図の横軸の月数は、掲載月の月から投稿受け月を引いたものを各学会誌1年ごとに平均したもの、縦軸はその平均月数を持つ学会誌の数です。論文には月始めに投稿されたものや、月の終わり頃投稿されたものもあります。また、学会誌にも発行日が月始めのものや、月の終わり頃のものもあります。これらの事情いづれも考慮しませんでした。

国内誌は1984年から1988年にかけて順次掲載までに要する日数が短縮されてきており、1987年に定常状態となったようです。この時点で、平均6か月のグループと1か月のグループにはっきり分化してきました。我が「鉄と鋼」は長い方のグループに属しています。「冗談じゃないよ。」という天の声は、国内誌が二つのグループに分化しつつある中で、「鉄と鋼」が長い方に取り残されていくことへの焦燥感ではなかったか、と受け止めています。

外国誌は、時代による変動がきわめて少ないことが特徴です。「我が道を行く。」というところでしょうか。

というのが、よそ様の事情でした。和文会誌分科会では「鉄と鋼」の質を落とさずに、天の声に応えようと研究を続けております。ご意見がございましたら、和文会誌分科会までお伝え下さい。

この調査は、和文会誌分科会委員が手分けをして行ったものです。委員の皆様のご協力に感謝します。

(千葉工業大学 和文会誌分科会主査 雀部 実)

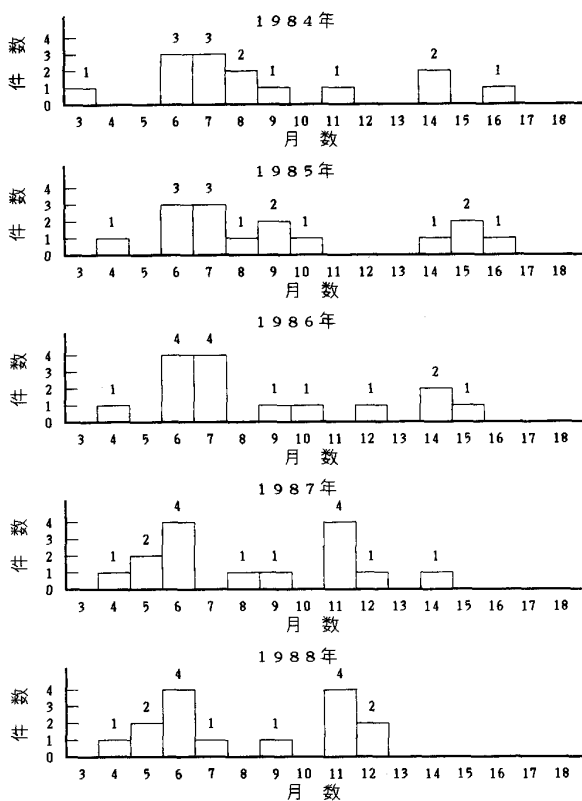


図1 国内誌の発行月数分布

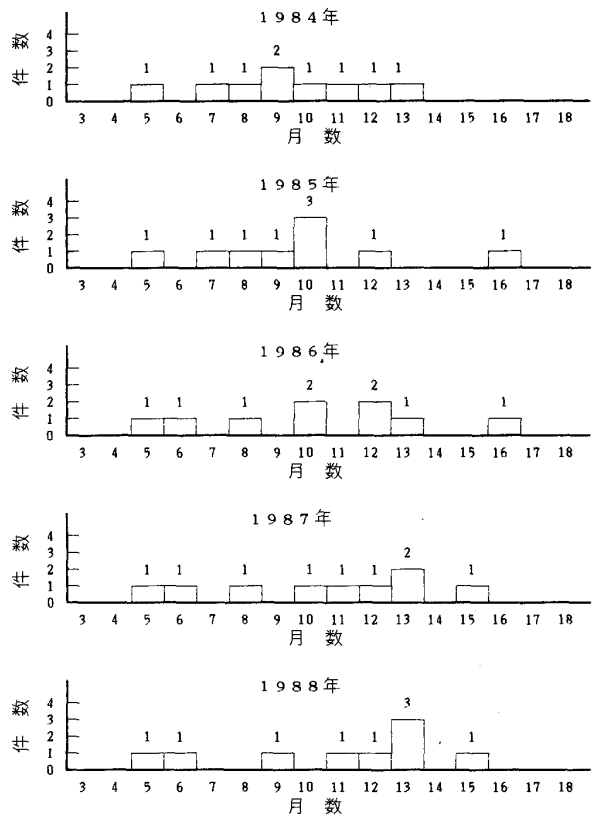


図2 国外誌の発行月数分布